

公 告 第 5 5 6 号

令和7年度 事業報告及び財産目録について

令和8年7月29日開催の第140回組合会において、令和7年度事業報告及び財産目録について議決・承認されましたので、組合同約第52条の規定により公告します。

記

公告書類（添付別紙）

1. 令和7年度事業報告
2. 令和7年度財産目録

以上

令和8年7月31日

J-オイルミルズ健康保険組合

理事長 山口 好司



令和 7 年度事業報告書

J-オイルミルズ健康保険組合

第1 事業の概況

1 一般勘定

令和7年度一般勘定の収支状況について、収入総額1,311,905千円、支出総額1,259,558千円、収支差引額52,347千円で終了し、経常収支では-16,784千円の赤字決算となった。収入不足を補填するため、別途積立金から30,000千円繰入を行った。なお、決算残金は、子ども勘定への繰越金と財政調整事業繰越金を除き、別途積立金に積み立てを行う。

単位：千円

		7年度決算 [A]	7年度予算 [B]	対予算 増減[A - B]	前年度決算 [C]	対前年度決算 増減[A - C]
収入	健康保険料	1,222,890	1,182,922	39,968	1,218,976	3,914
	特定健診補助金	319	735	-416	331	-12
	雑収入その他	640	2,884	-2,244	1,771	-1,131
	経常収入	1,223,849	1,186,541	37,308	1,221,078	2,771
	調整保険料	19,106	18,532	574	20,240	-1,134
	財政交付金	27,245	36,000	-8,755	42,692	-15,447
	積立金からの繰入	30,000	70,000	-40,000	70,000	-40,000
	その他	11,705	20,013	-8,308	7,474	4,231
収入合計		1,311,905	1,331,086	-19,181	1,361,484	-49,579
支出	保険給付費	648,401	668,363	-19,962	622,697	25,704
	納付金	506,748	510,198	-3,450	596,835	-90,087
	保健事業費	30,310	39,569	-9,259	31,823	-1,513
	事務費	53,930	58,401	-4,471	57,379	-3,449
	その他	1,244	1,632	-388	1,295	-51
	経常支出	1,240,633	1,278,163	-37,530	1,310,029	-69,396
	財政調整拠出金	18,921	18,532	389	20,115	-1,194
	その他	4	260	-256	20	-16
	予備費		34,131	-34,131		
	支出合計	1,259,558	1,331,086	-71,528	1,330,164	-70,606
経常収支		-16,784	-91,622	74,838	-88,951	72,167
収支差引額		52,347	0	52,347	31,320	21,027

主な項目の概要は、次のとおりである。

(1) 健康保険料

保険料算定基礎となる被保険者数は減少しているが、平均標準報酬月額および総標準賞与額の増加により、前年度比3,914千円増の1,222,890千円となった。

(2) 保険給付費

保険給付費は、前年度比25,704千円増の648,401千円となった。医療費全体が増加傾向にある中、被保険者の医療費は高い水準ではあるものの前年度並みであったが、被扶養者の医療費が前年度より約7%増加した。この要因としては、価格の高い医薬品の使用が増え、1か月の医療費が200万円以上の高額なレセプト発生件数が前年度の2.3倍、額にして約27,000千円増加したことが挙げられる。また、被保険者のメンタル不調を起因とする傷病手当金が急増しており、前年度より41%増加し、保険給付費を押し上げている。科目毎の給付費については、別表「第4 保険給付の概況」のとおりである。

(3) 納付金

令和7年度納付金において前々年度（令和5年度）の前期高齢者納付金が精算減額されたことにより、前年度比 90,087 千円減の 506,748 千円となった。

（4）保健事業費

保健事業費は前年度比 1,513 千円減の 30,310 千円となった。詳しい実施報告は、別表「第6 保健事業の概況」のとおりである。

（5）事務費

事務費は、職員構成の変更に伴う労務費減少等により、前年度比 3,449 千円減の 53,930 千円となった。

2 介護勘定

介護勘定の収支状況は、収入総額 183,282 千円、支出総額 156,536 千円、収支差引額 26,746 千円で終了した。決算残金は、準備金へ積み立てを行う。

		7年度決算 [A]	7年度予算 [B]	対予算 増減[A - B]	前年度決算 [C]	対前期度決算 増減[A - C]
収 入	介護保険料	183,282	181,092	2,190	185,023	-1,741
	準備金からの繰入	0		0	0	0
	雑収入	0	3	-3	0	0
	収入合計	183,282	181,095	2,187	185,023	-1,741
支 出	介護納付金	156,448	156,448	0	175,229	-18,781
	介護保険料還付金	88	90	-2	44	44
	雑支出	0	1	-1	0	0
	予備費		24,556	-24,556		
	支出合計	156,536	181,095	-24,559	175,273	-18,737
収支差引額		26,746	0	26,746	9,750	16,996

第2 庶務の概要

1 事務所 (所在地) 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー

2 組合会

開会 年月日	議決又は 報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の 出席状況		議決 の結果	
			出席	欠席	可	否
07.07.28	議案第1号 令和6年度収入支 出決算について	一般勘定 収入 1,361,483,390 円 支出 1,330,164,937 円 差引残額 31,318,453 円 介護勘定 収入 185,022,582 円 支出 175,272,976 円 差引残額 9,749,606 円	12	2	14 委任 含む	0
	議案第2号 令和6年度決算残 金処分について	一般勘定 別途積立金 31,197,321 円 財政調整事業繰越金 121,132 円 介護勘定 準備金 9,749,606 円	12	2	14 委任 含む	0
	議案第3号 令和6年度事業報 告について	令和6年度事業報告について説明し 承認された。	12	2	14 委任 含む	0
	議案第4号 規約・規程の変更に ついて	1. 監査規程の変更 自己点検シートが改正されたことに 伴う監査規程の改訂を、理事長専決で 行ったことについて報告し承認され た。 施行日：令和7年6月1日 2. 組合会規約の改訂 第4条 設立事業所名称及び所在地 ユニリーバ・ジャパン・サービス株式 会社の解散に伴う規約変更を、理事長 専決で行ったことについて報告し承 認された。 施行日：令和7年7月1日 第28条 理事、理事長及び監事の選 挙 補欠選挙実施の場合、候補者が定数を 超えない場合は選挙を実施しないこ ととする規約変更を、理事長専決で行 ったことについて報告し承認された。 施行日：令和7年7月1日 3. 会計事務取扱規程の変更 随意契約が認められる基準等を定め た政令改正に伴う規程変更を行うこ とについて、報告し承認された。 施行日：令和7年8月1日	12	2	14 委任 含む	0

	報告第1号 令和6年度決算に係る監事監査報告について	令和7年6月27日に実施された監事監査の結果について報告した。	12	2	-	-
	報告第2号 令和8年度保険料率について	令和8年度保険料率見直しの方針について説明した。	12	2	-	-
	報告第3号 子ども・子育て支援金について	令和8年度より開始される「子ども・子育て支援金」制度の概要について説明した。	12	2	-	-
開会 年月日	議決又は 報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の 出席状況		議決 の結果	
			出席	欠席	可	否
08.02.20	議案第1号 令和8年度保険料率について	令和8年度の健康保険料率85%、介護保険料率18%、子ども・子育て支援金率2.3%について説明し承認された。	14	0	14	0
	議案第2号 令和8年度収入支出予算について	一般勘定予算について ・予算総額で1,442百万円を計上。 ・経常収支は、161百万円の赤字となる見込み。 ・収入不足については、別途積立金から120百万円の繰入を行う。 介護勘定予算について ・予算総額で182百万円を計上。 子ども勘定予算について ・予算総額で32百万円を計上。	14	0	14	0
	議案第3号 保健事業の取組(データヘルス計画)について	第3期データヘルス計画の令和7年度の途中経過も含めた保健事業の進捗状況について説明し承認された。	14	0	14	0
	議案第4号 規約の変更について	「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」が令和8年4月1日より施行されることに伴う規約変更を行うことについて、報告し承認された。 施行日：令和8年4月1日	14	0	14	0
	報告第1号 規約の変更について	令和7年7月28日組合会にて承認を得た規約第28条の改訂について、関東信越厚生局のアドバイスを受け、規約文を修正し、施行日を令和8年9月1日に変更し、認可申請を行ったことについて報告した。	14	0	-	-
	報告第2号 個人情報保護研修について	役職員及び組合会議員に対する個人情報保護研修を行った。	14	0	-	-
	報告第3号 子ども・子育て支援金制度について	令和8年度より開始される「子ども・子育て支援金」制度の詳細について説明した。	14	0	-	-
	報告第4号 システム設計誤りによる新たに加入した保険者での健診結果データの閲覧について	厚労省が公表した発生事象について、その内容と対応状況を説明した。	14	0	-	-

	報告第5号 高額療養費制度改正の検討内容について	厚生労働省は高額療養費制度を改正する方向で検討を進めており、改正検討の背景、改正後の患者負担や組合負担の変化、組合としての今後の検討事項について説明した。	14	0	-	-
--	-----------------------------	---	----	---	---	---

3 議員及び役員

	議員			理事			監事			任期
	定員	現員	欠員	定員	現員	欠員	定員	現員	欠員	
選定	7	7	0	3	3	0	1	1	0	令和6年10月16日から 令和9年10月15日まで
互選	7	7	0	3	3	0	1	1	0	令和6年10月16日から 令和9年10月15日まで
計	14	14	0	6	6	0	2	2	0	

第3 事業主、事業所、被保険者の状況

種別		前年度末	本年度		本年度末
			増	減	
事業主数		12	0	1	11
事業所数		12	0	1	11
被保険者数	男	1,379人	63	99	1,343人
	女	588人	61	54	595人
	計	1,967人	124	153	1,938人
被扶養者数		1,687人	115	167	1,635人
介護保険第2号被保険者数		1,664人	84	148	1,600人
平均標準報酬月額 (※保険料免除者を除く)	男	486,171円			498,128円
	女	369,282円			387,298円
	平均	452,267円			465,019円
総標準賞与額(年間合計)		3,879,623千円			3,956,156千円

第4 保険給付の概要

			令和6年度		令和7年度		対前年度 増減額(千円)	増減率	
			件数	金額(千円)	件数	金額(千円)			
法定給付	被保険者	医療給付	療養給付費	17,128	266,554	16,679	236,587	-29,967	-11.2%
			入院時食事療養費	116	412	105	346	-66	-16.0%
			薬剤支給	8,967	59,731	8,673	80,972	21,241	35.6%
			訪問看護療養費	0	0	2	32	32	-
			療養費	514	1,958	494	1,864	-95	-4.8%
			移送費	0	0	0	0	0	-
			傷病手当金	105	25,813	169	36,371	10,559	40.9%
			埋葬費	1	50	1	50	0	0.0%
			出産育児一時金	14	7,000	22	11,000	4,000	57.1%
			出産手当金	0	0	2	348	348	-
			計	26,845	361,518	26,147	367,570	6,052	1.7%
	被扶養者	医療給付	家族療養費	17,046	186,954	16,055	205,799	18,844	10.1%
			家族薬剤支給	9,462	46,615	8,667	42,921	-3,694	-7.9%
			家族訪問看護療養費	36	835	38	912	78	9.3%
			第二家族療養費	361	1,810	333	1,814	4	0.2%
			家族移送費	0	0	0	0	0	-
			家族埋葬費	0	0	1	50	50	-
			家族出産育児一時金	9	4,500	12	6,000	1,500	33.3%
			計	26,914	240,714	25,106	257,495	16,781	7.0%
	高額療養費			106	4,652	87	3,404	-1,248	-26.8%
	高齢者療養給付費			255	2,197	276	6,959	4,762	216.7%
法定給付費 合計			54,120	609,082	51,616	635,428	26,346	4.3%	
付加給付	一部負担還元金		226	8,060	252	9,176	1,116	13.8%	
	家族療養費付加金		129	4,939	111	3,357	-1,582	-32.0%	
	合算高額療養付加金		10	617	6	440	-177	-28.8%	
	訪問看護療養費付加金		0	0	0	0	0	-	
付加給付費 合計			365	13,616	369	12,973	-643	-4.7%	
保険給付費 合計			54,485	622,697	51,985	648,401	25,704	4.1%	

第5 直営医療機関および指定医療機関

該当なし

第6 保健事業

1. 保健事業

注1) 【1】健康診査 【2】健康診査後の通知 【3】保健指導 【4】健康教育 【5】健康相談 【6】訪問指導 【7】その他

注2) 【1】39%以下 【2】40%以上 【3】60%以上 【4】80%以上 【5】100%以上

注3) ●：前年を上回る ▲：前年と同様 ×：前年を下回る

予算科目	注1)	事業名	事業の目的及び概要	対象者				事業費 (千円)	実施状況・時期			注2)	注3)
				資格	性別	年齢	対象		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び 阻害要因		
特定健康診査	【1】	特定健康診査	【目的】 生活習慣病予防 【概要】 ㈱イーウェル主催の「けんば共同健診」を利用	任 継 被 扶 養 者 被 保 険 者	男 女	30 ～ 74 歳	全 員	5,258	【令和6年度実績】 受診者数：336名（63%） 【令和7年度実績】 受診者数：292名（51%）	✓令和8年度目標達成に向け、被扶養者等への受診周知を実施。 ✓けんば共同健診を利用せず、パート先で受診した方を把握するために、健診結果を送付してもらえばクオカードを進呈する取組を実施。	【課題】被扶養者等の健診受診率低迷。 【要因】被扶養者等の健康に対する意識が低い。再度、被保険者からの声かけなど受診を促す取り組みを行う。	【2】	×
特定保健指導	【3】	特定保健指導	【目的】 メタボリックシンドローム予防・改善 【概要】 「動機付け支援」「積極的支援」に区別し、各保健指導プログラムを㈱ベネフィットワン、㈱RAZAPに委託	被 保 険 者 被 扶 養 者	男 女	40 ～ 74 歳	基 準 該 当 者	2,429	【令和6年度実績（国への報告）】 積極的支援：26名（16%） 動機付け支援：28名（25%） 計：54名（19%） 【令和7年度途中経過】 積極的支援：13名（9%） 動機付け支援：10名（10%） 計：23名（9%）	✓一部の工場については事業主からの声かけも行い、事業所型での保健指導参加者増に取り組んでいる。令和7年度に終了せず令和8年度にまたがる方もいる。 ✓令和8年度は前年度プラスαの支援率に繋げる。 ✓令和7年度よりRIZAP「特定保健指導プログラム」を導入。	【課題】特定保健指導終了率の低迷 【要因】目標に対して結果が表れないと本人として報告がしにくくなる。成功事例等を周知することで、健康意識を改善、保健指導対象者を減少させる。	【1】	×
保健指導宣伝	【4】	健康情報ポータルサイトKENPOS	【目的】 健康情報提供 【概要】 WEBアプリで健康情報提供・管理	被 保 険 者 被 扶 養 者	男 女	18 ～ 74 歳	全 員	330	【令和6年度実績】 登録者数：987名（39%） 【令和7年度実績】 登録者数：995名（40%）	✓ウォーキングイベント等を企画し、閲覧するきっかけ作りを継続。	【課題】KENPOSを閲覧する機会が少ない。 【要因】健康診断結果閲覧の機能がマイナポータルへ移動したため、アクセスする理由が減少。 健康をキーワードとした情宣紙を発行し、閲覧回数を増やし健康意識を高める。	【2】	▲

予算科目	注1)	事業名	事業の目的及び概要	対象者				事業費 (千円)	実施状況・時期			注2)	注3)
				資格	性別	年齢	対象		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び 阻害要因		
保健指導宣伝	[3]	マイヘルスレポート	【目的】 生活習慣病リスクの重症化予防 【概要】 健診結果で生活習慣病リスク該当基準であった者への健康冊子を配布	被保険者	男女	18～74歳	基準該当者	401	【令和6年度実績】 発行人数：483名（100%） 【令和7年度実績】 発行人数：375名（100%）	✓令和6年度より基準該当による発行人数は大幅に減少。 ✓継続して健康意識を高めるための情報提供及び推移を確認。	【課題】基準該当者は減少傾向にあるが、まだ該当者は存在。 【要因】健康に対する意識不足。基準該当で起こりうる疾病についての知識不足から生活習慣未改善。情報提供を行い、改善意識を高めていく。	[5]	●
	[4]	育児専門誌の配布	【目的】 育児サポート 【概要】 新生児が誕生した希望者に育児本「赤ちゃん」と「ラシタス」等を自宅に郵送	被保険者 被扶養者	男女	18～74歳	希望者	147	【令和6年度実績】 利用者数：38名 【令和7年度実績】 利用者数：19名	✓育児での不安解消や夫婦での関わり方など、育児での悩みをすこしでも解消しストレス緩和のため冊子を配布。 ✓利用者から「不安解消になった」との声もあるため取組継続。 ✓常に最新の情報を冊子に反映。	【課題】子育てをしていく上で発信したい情報が複数存在。 【要因】何を発信していくべきかの選択に苦慮したが、幼少期の事故防止のために令和8年度より、「子どもの事故予防」冊子配布を追加した。	—	▲
	[4]	健康管理ハンドブック	【目的】 退職者への情報提供 【概要】退職者に対し、健康対策情報を紹介する保健冊子を配布	被保険者	男女	18～74歳	該当者	46	【令和6年度実績】 送付者数：44名 【令和7年度実績】 送付者数：108名	✓冊子の配布とあわせて各市区町村で実施しているがん検診の情報提供を実施。	【課題】健康管理ハンドブックをどの程度活用されているかが不明。	—	—
	[4]	介護健康教室	【目的】 介護教室・健康教室の提供 【概要】 「ふれあい健康事業推進協議会」主催の介護・健康教室に参加	被保険者 被扶養者	男女	18～74歳	全員	64	【令和6年度実績】 介護教室利用者数：11名 健康教室利用者数：7名 【令和7年度実績】 介護教室利用者数：4名 健康教室利用者数：6名	✓ライブ型、オンデマンド型での女性の健康に関すること、介護に関することの知識を高め、不安によるストレス解消に寄与。 ✓健保ホームページ等での周知。	【課題】健康および介護教室の利用者が少ない。 【要因】健康に対しての意識不足、介護に直面する可能性の低さ。参加を促すため、健康管理の重要性、介護が発生する可能性を念頭に情報提供していく。 また、	—	×

予算科目	注1)	事業名	事業の目的及び概要	対象者				事業費 (千円)	実施状況・時期			注2)	注3)
				資格	性別	年齢	対象		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び 阻害要因		
保健指導宣伝	[4]	健康キャンペーン	【目的】 健康増進・生活習慣病改善 【概要】 KENPOSを使用したWEBウォーキングイベントを実施	被保険者	男女	18 ～ 74歳	全員	581	【令和6年度実績】 参加者数：244名（13%） 【令和7年度実績】 参加者数：249名（13%）	✓健康増進のため、11月～1月末までウォーキングイベントを開催。 ✓情宣紙等で周知。	【課題】参加者数の伸びがない。 【要因】ウォーキング等で体を動かすことの必要性周知不足。健康診断受診や生活習慣改善意識の啓蒙を強化していく。 <u>イベント参加者へのアンケート等を実施し、より良い企画にしていく。</u>	[1]	×
	[7]	健保ホームページ	【目的】 健康保険制度の周知 【概要】 加入者への情報提供	被扶養者	男女	18 ～ 74歳	全員	396	—	✓常に最新の情報を掲載し、利用者に見やすく・わかりやすいHP構成を継続。 ✓J-オイルミルズ健康保険組合規約を掲示。	【課題】— 【要因】—	—	—
	[7]	受診勧奨	【目的】 未受診者への受診勧奨 【概要】 ㈱イーウェル主催の「けんば共同健診」の未受診者を対象にハガキを送付	任継続被保険者	男女	30 ～ 74歳	対象者	231	【令和6年度実績】 対象者数：374名（100%） 【令和7年度実績】 対象者数：369名（100%）	✓健診未受診者に対して、健診受診のハガキを送付。 ✓健診受診の重要性、プラスα無料検診をわかりやすく掲載。	【課題】被扶養者等の健診未受診者の存在。 【要因】被扶養者等の健康に対する意識が低い。被保険者からの声がけ、被扶養者資格確認調査等を利用して、受診を促す取り組みを行う。	[5]	▲
	[7]	医療費通知	【目的】 医療費の適正化 【概要】 ①KOSMO.Web上での医療費情報および処方医薬品（先発、ジェネリック等）情報の照会 ②柔整医療費通知書の送付	被扶養者	男女	0 ～ 74歳	①KOSMO ②柔整対象者 全員	80	【令和6年度実績】 ②柔整医療通知対象者数：60名（100%） 【令和7年度実績】 ①KOSMO.Web利用者数：1,842名（93%） ②柔整医療通知対象者数：49名（100%）	① ✓医療費が発生した場合、後発医薬品を使用した場合の差額含めた通知及び金額差表示を継続。 ② ✓繰返し柔整受診者に対して、適正な受診を促す通知を自宅に送付。通知対象者が11名減少。	【課題】 ①後発医薬品が存在していても先発医薬品を選択。 ②繰返し柔整受診者の固定化。 【要因】 ①発医薬品の知識不足。後発医薬品の安全性含めた情報提供および利用促進周知。 ②意図的な柔整受診。正しい柔整についての周知を行う。	① [5] ② [5]	① ▲ ② ●

予算科目	注1)	事業名	事業の目的及び概要	対象者				事業費 (千円)	実施状況・時期			注2)	注3)
				資格	性別	年齢	対象		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び 阻害要因		
保健指導宣伝	【7】	健康管理事業 推進委員会	【目的】 健康管理事業の策定・評価・分析 【概要】 健康管理事業における理事会の諮問機関	健康管理事業 推進委員	—	—	委員	98	令和7年12月24日に開催済み	✓ 令和7年度の健保の現状および保健事業の共有と令和8年度の取組について確認。 ✓ 個人情報保護研修実施。 ✓ 外部講師による「不調を訴える社員へのかかわり方」セミナーを実施。	【課題】委員と議論する時間が少ない。 【要因】180分の時間で行っているが、健保の状況共有、外部講師によるセミナーの追加により意見交換する時間が短縮。資料の事前配布等で時間を創出。	【5】	▲
	【1】	生活習慣病健診	【目的】 生活習慣病予防 【概要】 定期健康診断に合わせて、健保項目（血液検査：クレアチニン、HbA1c、尿酸、尿素、窒素）を実施	一般被保険者	男女	30~74歳	全員	1,980	【令和6年度実績】 受診者数：1,666名（96%） 【令和7年度実績】 受診者数：1,761名（91%）	✓ 定期健康診断時に実施している項目であり、事業主と連携。	【課題】定期健康診断受診率が100%に達していない。 【要因】法定健診及び健康診断の重要性、健保補助検診項目の周知不足。周知を実施していく。	【4】	▲
	【1】	けんぽ共同健診 （特定健診項目以外）	【目的】 疾病予防 【概要】 ㈱イーウェル主催の「けんぽ共同健診」を利用	任継被保険者 被扶養者	男女	30~74歳	全員	1,682	【令和6年度実績】 受診者数：336名（63%） 【令和7年度実績】 申込者数：292名（51%）	✓ 特定健診時に合わせて胸部X線検査や心電図検査などのプラスアルファの検査を実施し、より充実した健診を提供。	【課題】被扶養者等の健診受診率低迷。 【要因】被扶養者等の健康に対する意識が低い。再度、被保険者からの声かけなど受診を促す取り組みを行う。また、KENPOSサイト等を利用してロコモティシンドロームに対しての対応を検討していく。	【2】	×
疾病予防	【1】	人間ドック	【目的】 生活習慣病予防、疾病の早期発見 【概要】 ㈱イーウェル契約の検診機関で受診。（受診費用の一部を補助）	被扶養者 被保険者	男女	30~74歳	全員	3,350	【令和6年度実績】 利用被保険者：124名 利用被扶養者/任継：31名 計：155名 【令和7年度実績】 申込被保険者：103名 申込被扶養者/任継：33名 計：136名	✓ 健康意識向上の周知により、定期的な受診者増に向け取り組む。 ✓ 定期健康診断受診の情宣紙にがん検診受診の案内を掲載。	【課題】毎年一定数の受診者はいるが、受診者の半数が固定化している。 【要因】受診者が固定している状況であり、数年に1度の受診でも疾患の早期発見につながるため、新規受診を周知する。	—	▲

予算科目	注1)	事業名	事業の目的及び概要	対象者				事業費 (千円)	実施状況・時期			注2)	注3)
				資格	性別	年齢	対象		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び 阻害要因		
疾病予防	[1]	Smart ドック	【目的】 生活習慣病予防、疾病の 早期発見 【概要】 日本予防医学協会契約の 検診機関で受診。(受診費 用の一部を補助)	被 保 険 者	男 女	3 0 ~ 7 4 歳	全 員	456	【令和6年度実績】 利用被保険者：17名 利用被扶養者/任継：1名 計：18名 【令和7年度実績】 申込被保険者：11名 申込被扶養者/任継：3名 計：14名	✓ 定期健康診断受診項目に加 えて、プラスαの健診が少 ない自己負担で可能。 ✓ 事業主によっては、充実し た健診オプション項目を用 意。	【課題】定期健康診断項目に 加えて健診オプション項目 も用意しているが受診者数 は横ばい。 【要因】健診の重要性、健診 オプションの周知を行って いく。	—	▲
	[1]	大腸がん検診	【目的】 大腸がんの早期発見 【概要】 40歳以上の被保険者、 30歳以上の被扶養者を 対象に便採取キットで検 査	被 保 険 者	男 女	3 0 ~ 7 4 歳	全 員	1,574	【令和6年度実績】 受診者数：1,103名(86%) 【令和7年度実績】 受診者数：1,490名(82%)	✓ 定期健康診断時に実施して いる項目であり、事業主の 協力を得ながら更なる受診 率向上。	【課題】定期健康診断受診率 が100%に届いていない 中、健診受診者も100%に 達していない。 【要因】検診の重要性認知不 足。受診の重要性を再周 知。	[4]	▲
	[1]	乳がん検診	【目的】 乳がんの早期発見 【概要】 女性被保険者全員、30歳 以上の女性被扶養者を対 象に、乳房エコーもしく はマンモグラフィーを実 施	被 保 険 者	女	1 8 ~ 7 4 歳	全 員	3,806	【令和6年度実績】 受診者数：728名(65%) 【令和7年度実績】 受診者数：692名(61%)	✓ 令和6年度に対して令和7 年度の受診者はほぼ同数。 全国的に乳がん罹患者が増 えている傾向にあるため、 継続して情宣を実施。 ✓ 一事業所で新規医療機関と の契約を行い、受診しやす い環境を作り上げた。	【課題】全国的に罹患者は増 加傾向にある。 【要因】乳がん検診の必要性 認識不足。情報提供により 受診意識の醸成。令和8年 度より、乳がん早期発見 「ブレストセルフチェッカ ー」を導入。	[3]	▲
	[1]	子宮がん検診	【目的】 子宮がんの早期発見 【概要】 女性被保険者全員、30歳 以上の女性被扶養者を対 象に子宮がん検診を実施	被 保 険 者	女	1 8 ~ 7 4 歳	全 員	2,992	【令和6年度実績】 受診者数：497名(45%) 【令和7年度実績】 受診者数：544名(48%)	✓ 令和6年に対して令和7年 の受診者は増加。早期発 見、早期治療により重症化 を防ぐことができるため、 検診の重要性を周知。 ✓ 一事業所で新規医療機関と の契約を行い、受診しやす い環境を作り上げた。	【課題】全国的に罹患者は増 加傾向にある。 【要因】子宮頸がん検診の必 要性認識不足。また、集団 検診では受診設備が整って いない。情報提供により受 診意識の醸成且つ近隣施設 での受診検討。	[2]	▲

予算科目	注1)	事業名	事業の目的及び概要	対象者				事業費 (千円)	実施状況・時期			注2)	注3)
				資格	性別	年齢	対象		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び 阻害要因		
疾病予防	[1]	ABC 検診	【目的】 胃がんのリスクを調べる。 【概要】 30 歳以上の未受診者を対象に胃がんリスク検査を実施	被扶養者 被保険者	男女	30 ～ 74 歳	対象者	884	【令和 6 年度実績】 受診者数：76 名（30%） 【令和 7 年度実績】 受診者数：111 名（28%）	✓ 当該年度末時点で 30 歳以上の ABC 検診未受診者が対象。 ✓ 胃バリウム検査のような放射線の照射や下剤の服用等の負担が無い。	【課題】医療機関によって ABC 分類の基準やカットオフ値が異なる。 【要因】ABC 検診の対象および健診内容の周知不足。より精度の高い検診項目を再考。	[1]	●
	[1]	肝炎ウイルス検診	【目的】 ウイルス性肝炎の感染を調べる 【概要】 30 歳の被保険者のうち希望者を対象に B 型・C 型肝炎の感染の有無を調べる検査を実施	一般被保険者	男女	30 歳	希望者	122	【令和 6 年度実績】 受診者数：25 名（63%） 【令和 7 年度実績】 受診者数：34 名（89%）	✓ 事業主経由で対象者に案内を実施。 ✓ 30 歳での受診を逃した場合でも、各自治体で実施している健診で受診可能。	【課題】受診率が 100% に届いていない。 【要因】事業主から受診案内は実施しているが、受診の必要性認識不足。情報提供により受診意識の醸成。	[4]	●
	[1]	被扶養者検診補助	【目的】 若年層の健康診査 【概要】 30 歳未満の被扶養者健康診断について、10,000 円を限度に補助（学生除く）	被扶養者	男女	18 ～ 29 歳	全員	0	【令和 6 年度実績】 受診者数：0 名 【令和 7 年度実績】 受診者数：0 名	✓ 学生を除く 30 歳未満の被扶養者に対しての検診補助。	【課題】受診率低迷 【要因】補助制度の周知不足。被保険者経由での周知を実施。	[1]	▲
	[1]	歯科健診	【目的】 歯科チェック 【概要】 歯科健診センターと提携する全国の歯科医院で無料歯科健診が可能	被扶養者 被保険者	男女	0 ～ 74 歳	全員	83	【令和 6 年度実績】 受診者数：10 名（0.2%） 【令和 7 年度実績】 受診者数：9 名（0.2%）	✓ 歯科健診センター利用のみならず、行きつけの歯科医院で歯科健診をすることで、むし歯や歯周病の早期発見による重症化予防。 ✓ 歯科健診受診の案内に加え、口腔管理（歯周病とは）について情宣を発行。	【課題】健診のみで、指導・治療までは実施されない。 【要因】治療まで実施されない。歯について意識のある人は、行きつけの歯科医院で検査を実施。歯科健診センターのみではなく、歯科に係る情報提供を行い歯科健診の意識の醸成。	[1]	▲

予算科目	注1)	事業名	事業の目的及び概要	対象者				事業費 (千円)	実施状況・時期			注2)	注3)
				資格	性別	年齢	対象		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び 阻害要因		
疾病予防	【5】	健康相談専門医療ホットライン	【目的】 健康管理・健康相談の提供 【概要】 健康相談及びメンタルヘルスカウンセリング等を(株)ティーベックに委託	被保険者 被扶養者	男女	18 ～ 74歳	全員	1,083	【令和6年度実績】 利用者数：46名 【令和7年度実績】 利用者数：12名	✓ 健康相談や急なけがや病気などの、電話相談を通じ加入者の不安解消。 ✓ 更に周知を行い、ヘルスリテラシー向上。	【課題】 利用者の低迷。 【要因】 相談する案件が少なくなっているのであれば良い方向。周知は継続実施。	—	×
	【5】	女性のための健康相談窓口	【目的】 女性が子育てをしながら仕事を続けていくサポートを提供 【概要】 小児科医や産婦人科医に相談し悩みや不安を解消。(株)パソナメディカルに委託	被保険者 被扶養者	男女	0 ～ 74歳	全員	150	【令和6年度実績】 利用者数：57名 【令和7年度実績】 利用者数：23名	✓ 男性も利用可能。 ✓ LINE を用いた相談システムの為、夜間相談も可能であり利用しやすさ。 ✓ 周知を継続し、対象者のストレス緩和。	【課題】 利用者の低迷。 【要因】 相談する案件が少なくなっているのであれば良い方向。周知は継続実施。	—	×
	【7】	オンライン禁煙プログラム	【目的】 生活習慣病の発症リスク軽減 【概要】 禁煙支援を(株)リンケージに委託	被保険者	男女	20 ～ 74歳	全員	0	【令和6年度実績】 利用者数：1名 【令和7年度実績】 利用者数：0名	✓ 肺がんのリスク軽減と生活習慣病の改善を図る取り組みであり、周知を継続。	【課題】 参加者の低迷。一定数の喫煙者は存在。 【要因】 肺がんリスクの周知不足。	【1】	×
	【7】	インフルエンザ予防接種	【目的】 インフルエンザの重症化予防 【概要】 接種にかかった費用に対して、上限 2,000 円/人を補助	被保険者 被扶養者	男女	0 ～ 74歳	全員	2,087	【令和6年度実績】 申請者数：860 名（23%） 【令和7年度実績】 申請者数：1,049 名（29%）	✓ インフルエンザ感染による医療費は一定割合ある。 ✓ 継続して補助を実施。	【課題】 — 【要因】 —	—	●

第7 決算残金処分

1 一般勘定

決算状況		決算残金処分内訳	
収入決算額	1,311,904,331 円	準備金	0 円
支出決算額	1,259,557,258 円	別途積立金	51,847,670 円
差引残高	52,347,073 円	繰越金	319,078 円
		財政調整事業繰越金	180,325 円

2 介護勘定

決算状況		決算残金処分内訳	
収入決算額	183,281,828 円	準備金	26,746,072 円
支出決算額	156,535,756 円	繰越金	0 円
差引残高	26,746,072 円		

第8 財産の移動状況

1 一般勘定

種別	前年度末現在 金額又は 価格(円)	本年度中移動		本年度末現在 金額又は 価格(円)
		増	減	
		金額又は 価格(円)	金額又は 価格(円)	
準備金	206,073,252			206,073,252
別途積立金	756,415,180	51,847,670	30,000,000	778,262,850
退職積立金	824,000	200,000		1,024,000
土地				
建物				
機器及び器具				
計	963,312,432	52,047,670	30,000,000	985,360,102

2 介護勘定

種別	前年度末現在 金額又は 価格(円)	本年度中移動		本年度末現在 金額又は 価格(円)
		増	減	
		金額又は 価格(円)	金額又は 価格(円)	
準備金	63,124,543	26,746,072		89,870,615

第 9 組合債

該当なし

第 10 その他重要な事項

1 関東信越厚生局への届出事項

JOM 健保発 25024 号	令和 6 年度収入支出決算届出	令和 7 年 7 月 29 日付
JOM 健保発 25025 号	組合規約変更届出 (規約第 4 条事業所からユニリーバ・ジャパン・サービス (株) 削除)	令和 7 年 7 月 29 日付
JOM 健保発 25026 号	組合規約変更認可申請 (規約第 28 条理事、理事長及び監事の選挙変更)	令和 7 年 8 月 1 日付
JOM 健保発 25080 号	組合規約変更届出 (規約第 45 条、48 条、49 条子ども・子育て支援金に係る変更)	令和 8 年 3 月 2 日付
JOM 健保発 25081 号	令和 8 年度収入支出予算届出	令和 8 年 3 月 2 日付

以上のとおり報告する。

令和 8 年 7 月 16 日

Jーオイルミルズ健康保険組合
理事長 山口 好司

令和 7 年度財産目録

J-オイルミルズ健康保険組合

J-オイルミルズ健康保険組合 財産目録

1 一般勘定

種 別	細 目		金 額	備 考
準備金	銀行預金	定期預金	0	
		普通預金	199,526,252	みずほ銀行
	委託金		6,547,000	社会保険診療報酬支払基金
	令和7年度決算残金処分額		0	
	小 計		206,073,252	
別途積立金	銀行預金	定期預金	0	
		普通預金	726,415,180	みずほ銀行
	委託金		0	社会保険診療報酬支払基金
	令和7年度決算残金処分額		51,847,670	
	小 計		778,262,850	
退職積立金	銀行預金	普通預金	1,024,000	
	小 計		1,024,000	
その他の財産	器具備品		0	
	契約施設保証金		0	
	小 計		0	
合 計			985,360,102	

2 介護勘定

種 別		金 額又は価格	備 考
準備金	銀行預金	定期預金	0
		普通預金	63,124,543
	令和7年度決算残金処分額		26,746,072
合 計		89,870,615	